

l_0 : 標点距離 (mm)

備考：板状試験片で破断面をつき合わせたとき、幅の中央部にすき間 (CP) がある場合 (図 2) にも、この CP の寸法を差引かずに標点 O_1O_2 間の長さをもって破断伸び (伸び) を算出する。

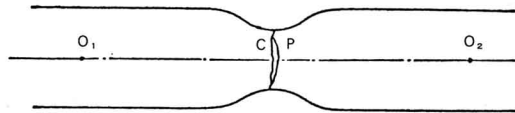


図 5 - 2

- (9) 破断伸び (伸び) の数値は、J I S ・ Z 8401 (数値の丸め方) によって 1 位に丸める。ただし、標点距離が 100mm をこえる場合には、もっとくわしくてもよい。
- (10) 絞りの測定には円形断面の試験片を用いる。
- (11) 絞りは、つぎの式によって求める。

$$\varphi = \frac{A_0 - A}{A_0} \times 100$$

φ : 絞り (%)

A : 試験片の破断面を注意してつき合わせ、(1) に準じて測定した最小断面積 (mm^2)

A_0 : 原断面積 (mm^2)

- (12) 絞りの数値は、J I S ・ Z 8401 (数値の丸め方) によって 1 位に丸める。
- (13) 引張試験の成績は試験片の破断位置によって、つぎの記号を付記して区別する。
- A : 標点間の中心から標点距離の $\frac{1}{4}$ 以内 (図 3 ・ A 部) で破断した場合。
- B : 標点間の中心から標点距離の $\frac{1}{4}$ をこえ、標点以内 (図 3 ・ B 部) で破断した場合。
- C : 標点外 (図 3 ・ C 部) で破断した場合。
- この A, B, C の区分は、破断後の標点間の長さで考えてもよい。

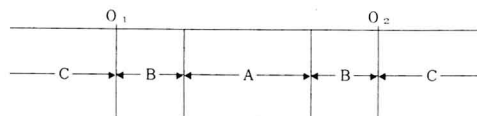


図 5 - 3

- (14) 試験の成績には、試験片の種類を付記する。